

**幹線道路等での騒音・振動の実態と対策について**

**問** 県の調査によると、大塚、三谷、旭町、府相、竹谷地区で基準を超えるが、対策はどう考えるか。

**答** 継続して基準を超える地区については、生活環境が著しく損なわれていると判断している。道路管理者や公安委員会に対策を求めている。

**庄田博己（未来の会）**

**新城市民病院の危機と蒲郡市民病院の問題点**



蒲郡市民病院

**問** 新城市民病院では医師が激減し、存続が危ぶまれていると聞く。蒲郡でも同様の可能性はないか。

**答** 同様の事態が起こる可能性はある。今後とも危機意識を持って医師確保に努めていきたい。

**ラグーナ蒲郡の債務超過と増資協議について**

**問** 蒲郡海洋開発株は減損会計を導入し、蒲郡市に大幅な増資の要請をしているが、県と市は誠実に支援策を示すべきではないか。

**答** 増資には応じられないが、何らかの支援は必要だと考えている。

その他の質問

- 1 指定管理者の選定結果と外郭団体の処遇

**喚田孝博（新政クラブ）**

**連続立体交差事業側道整備の予定は**

**問** JR上り線高架完成後の側道整備はどのような

な予定になっているか。

**答** 仮線撤去、側道復旧、河川改修などの整備を終え、平成19年度末事業完了の予定である。工事期間等わかり次第、地元説明会を開催し、住民生活に支障にならないよう県と連携を図り進めていきたい。

**協働のまちづくりの推進を**

**問** 市民と行政が協働で進めるアダプトプログラム（公共施設の里親制度）の推進をどのように考えているか。

**答** 9月から関係各課による検討チームを作り、既存のボランティア、委託先などと調整を図り、制度化に向けて取り組んでいる。

**来本健作（未来の会）**

**観光交流課を設置しては**

**問** 観光交流立市宣言をした蒲郡市において、観光交流を専門に担当する部門を新設し、強力に観光交

流を推進すべきであると考えているが、市の考えを伺う。

**答** 早急に検討すべきであるが、行財政の厳しさが増している現状では速やかな対応は難しい。当面は現行体制で観光交流立市都市にふさわしい交流事業を推進していきたい。

その他の質問

- 1 大塚地区の諸課題
- (1)「さがらの森」の水確保
- (2)海陽学園周辺整備
- (3)大塚海浜緑地の整備
- (4)一般廃棄物最終処分場の現状
- (5)民成地区工業用地の開発

**柴田安彦（日本共産党）**

**蒲郡海洋開発株の経営と市の関わり方**

**問** 蒲郡海洋開発株は、減損会計の導入で195億円の債務超過となり、増資が求められていると報道された。市は経営状況をどう判断



蒲郡海洋開発株が運営するラグーナ蒲郡

しているのか。増資には応じるべきではないと思うがどうか。また、埋立ては完了しており第三セクターを見直す時期ではないか。

**答** 減損会計を導入し大幅な債務超過となるが、減価償却費も同様に低くなると予想されるため、今後も経営は安定していくと考えている。

蒲郡市に40億円超の増資が求められるが、厳しい財政状況のため、これに応じるのは難しい。蒲郡海洋開発株は市が中心となり、県、民間の協力でできたという経緯があるので、今後も維持していくべきと考える。